

令和５年度 自己評価結果公表シート

作成 認定こども園 徳庵愛和幼稚園

１．本園の教育目標

幼児の心身の発達をふまえ、ひとりひとりに応じた適切な指導を心がけるとともに、基本的な生活習慣を重視した教育を行い、豊かな情操性、社会性を培う。

様々な活動を通して、自己表現の可能性を伸ばすとともに、自分でよく考えて行動できる主体性、友だちと仲良くできる協調性を育む。

落ち着いた環境の中で、いろいろなことに興味や関心を持ち、意欲的に取り組んで行けるように「楽しい」保育を心がける。

健康面や自立心の涵養を考え「遊び」の時間を大切にする。

２．本年度、重点的に取り組む目標・計画

園庭環境をより充実させるとともに、遊具の安全点検や園児たちの安全管理を徹底する。

子どもたちの体力や運動能力を高められるよう屋外遊びや運動遊びを工夫し楽しんで取り組めるようにする。

年間保育計画等を適宜点検することでより効果的なものとなるよう努める。

３．評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育活動の進め方	保育活動をコロナ感染症の制約のないものに戻して行った。 プール遊びの活動時間を戻すとともに熱中症対策を施すなど安全管理に配慮した。日帰り旅行に変更していた宿泊保育は就寝時の感染予防に配慮しつつ元に戻すことができた。 運動会、発表会については内容・進行方法等を点検し直し行った。
年間指導計画	保育計画に関する月ごと学期ごとの進捗状況や反省点の確認、情報交換等について、同学年担任間では定期的に行い、異学年担任間でも必要に応じて行うことができた。
保育上の配慮	援助や配慮を要する園児への対応として、担任以外でもフォローできるよう教員配置を行った。
環境整備	園庭環境の整備として桜、棕櫚の植樹を行い、園庭遊具を新調した。また、耐用年数等から園庭遊具の撤去を決め実行した。

通園バス車両	整備が行き届き運行上問題はなかったが、使用年数等を踏まえ通園バスの買い替えを検討し始める。利用人数や環境面への配慮からバスの小型化等を検討しつつ、園児や職員がスムーズに移行できる時期に導入できるように計画を進めている。
--------	---

4．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価を通して、教員一人ひとりが保育において配慮すべき点や見落としがちな点を確認するとともに、反省点や改善すべき点を具体的に考察することができた。 コロナ感染症対策の解除により従前の行事や保育内容を復活させて行く事となったが、同時に新たな視点で点検を施すことで、活動内容の見直し等を進めることができた。 運動遊びを工夫するなどし運動能力が向上するよう努めてきたが、今後も継続する必要性を感じる。また危険性に対する認知能力を高める必要性も感じる。
--

5．今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
環境整備	より充実した園庭環境となるよう引き続き検討し、具体化を進めて行く。
ケガ・事故防止	子どもたちの体力、運動能力が低下傾向にあり、特に屋外遊びでの事故防止に努める。転倒や遊具からの落下などを防止するため監視に当たる人員の配置を工夫するとともに遊具での安全な遊び方の周知を徹底する。
教育保育時間	現在午前保育としている水曜日を午後保育とすることで教育時間の拡張を図る計画について具体的検討する。

6．学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。

7．財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。
